



周道第 0061 号
平成 19 年 4 月 27 日

国土交通省道路局
道路局長 宮田 年耕 様

周南市長
河村 和登



国道企第 114 号 (平成 19 年 4 月 2 日付け) 依頼のありました「中期的な計画の作成にあたっての意見提出について」下記により回答いたします。

記

周南市は、都市交通施設機能、都市環境保全機能、都市防災機能などの都市機能の向上を図るため、まちづくり総合計画の中で「快適にくらせるまちづくり」、「安心して暮らせる街づくり」の一環として社会資本の整備を進めております。引き続き、市民の生活基盤の充実を図るため、道路特定財源により道路整備が必要であります。

1, 今後の道路政策や道路の整備・管理について

※ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

防災道路の整備

平成 7 年 1 月 17 日の阪神・淡路大震災、また、本市周辺においても平成 13 年 3 月 24 日の芸予地震、平成 17 年 3 月 20 日の福岡県西方沖地震等大きな地震災害が、発生しております。災害復旧における道路は、重要な役割を果たすものであり、幹線道路・主要地方道路・地域密着の防災道路整備が、重要課題である。

主要橋梁の維持補修

橋梁を資産としてとらえ、最小の投資により最大の効果を上げることを目的とした「アセットマネジメント」に基づき予防保全型の維持管理への転換が必要である。

高度成長期に架けられた橋梁が、今後は、老朽化のため一斉に更新期を迎えることとなり、架け替えは、多大な費用が必要であり財政負担も厳しい状況となることにより予防保全の維持管理に取り組む必要がある。

幹線道路の整備

地域高規格道路周南道路の計画路線への早期指定と事業化、を中期的な計画へ。徳山西インターチェンジから光市まで、約 30 kmのうち徳山駅から櫛ヶ浜駅周辺までの道路整備の事業化。

※ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

市街地周辺における幹線道路（物流関連道路）を整備し住工分離を進める。

現在、幹線道路（物流関連道路）における慢性的な渋滞を解消し産業活動を促進し、渋滞による排ガス等による幹線道路周辺の環境悪化解消のためにも住工分離の道路整備を促進し、産業活動の促進により、全体的なコスト縮減化を図る。

※ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

主要市道の維持補修費

平成の市町村合併により管理すべき市道延長の増大により市道維持（主要生活道路の舗装整備）等に多大な財政負担が発生しており十分な維持対応が困難な状況であり道路特定財源により財政的援助。

(参考)

中期的な計画の作成に当たりの意見（回答）

周南市都市計画課

意見

地域高規格道路周南道路の早期建設について

周南道路の早期建設については、平成10年に地域高規格道路の候補路線として指定され、翌年に周南地域3市1町（周南市、光市、下松市、田布施町）が建設促進期成同盟会を設立し、毎年国や地元選出国會議員への要望等の活動を行っております。しかしながら、依然として、候補路線のままで、計画路線への指定には至っておりません。

周南地域は、特定重要港湾徳山下松港と、山陽・中国自動車道を、海陸の物流拠点として、臨海部沿いに石油・化学、鉄鋼、機械などの基礎素材型産業を中心に多彩な企業が集積し、西日本を代表する石油コンビナート群を形成しております。しかしながら、これら工場群と物流拠点の連結が市街地により分断されていることにより、生活関連交通との混在化と、慢性的な交通渋滞による物流機能の悪化が深刻な問題となっています。

このため、地域高規格道路周南道路の計画路線への早期指定と事業化について中期的な計画への格別の御配慮をお願いします。

- 1、 今後の道路施策や道路の整備・管理について
 - 重点化を進める上で特に優先度の高い施策
徳山西インターチェンジから光市までの全線のうち徳山駅から櫛浜駅周辺までの区間の事業化を優先するべきと考えます。
 - 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
周南地域の安心・安全と、物流機能の増進を図るため、生活関連交通と、産業交通の分離化が必要だと考えます。
 - その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見
事業を実施するには財源の確保が重要であり道路特定財源のより一層の確保をお願いいたします

周南市都市整備課

意 見

周南市の街路事業は、都市交通施設機能、都市環境保全機能、都市防災機能などの都市機能の向上を図るため、まちづくり総合計画の中で、「快適に暮らせるまちづくり」、「安心して暮らせるまちづくり」の一環として事業を進めてまいりましたが、都市計画道路 67 路線の内、未整備路線が 26 路線、未着手が 12 路線を抱えているのが現状です。こうしたことから、今後も引き続いて、市民の生活基盤の充実を図るため、継続して街路事業を進める必要があります、そのためには、道路特定財源の確保をお願い致します。

1、 今後の道路政策や道路の整備・管理について

○重点化を進めるうえで特に優先度の高い施策

・周南地区は、国道 2 号線と、山陽自動車道、中国自動車道を基本幹線として、都市形成されていまして、防災・生活基盤路線の骨格をなす、このライフラインの充実と維持管理がもっとも重要と考えます。

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

・市街地の市民の生活基盤路線は国道 2 号線と山陽自動車道に依存しているのが現状で、交通渋滞の解消がもっとも重視すべきことであります。

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

・今後も、道路事業に対する国の予算処置をお願い致します。